

【別紙2】同価入札者がいる場合の落札者決定方法

くじ番号による決定方法

- ① 入札参加者はあらかじめ3桁以内の任意の番号（「0」から「9」までの数字を3文字組み合わせたもの。ただし、「000」を除く。）を入札書に記載してください。
くじ番号の記載がない場合は「999」を割りあてます。
- ② 同価入札者は、大分市物品等供給契約競争入札参加有資格者名簿の業者番号の小さい者から順に0、1、2…と入札番号を割り振りします。
- ③ 同価入札者のくじ番号の合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。
- ④ 上記で得られた余りと、②で割り振られた入札番号が同じ者が落札候補者となります。

(例) (業者番号)	(会社名)	(入札金額)	(くじ番号)	(入札番号)
1	A社	1,000,000円	121	0
2	B社	1,000,000円	745	1
3	C社	1,020,000円	333	
4	D社	1,050,000円	960	
5	E社	1,000,000円	581	2
6	F社	1,050,000円	626	

- (1) 同価入札者が3者（A社、B社、E社）あるので、業者番号の小さい者から順に0、1、2と入札番号を割り振ります。
- (2) 同価となっている入札参加者のくじ番号の合計を算出します。
$$\text{合計} = 121 \text{ (A社)} + 745 \text{ (B社)} + 581 \text{ (E社)} = 1,447$$
- (3) (2)により算出した合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。
$$1,447 \div 3 = 482 \text{ 余り } 1 \rightarrow \text{余りの数 } 1$$
- (4) 上記で得られた余りと、入札番号が同じB社が落札候補者となります。
- (5) 仮に同価入札者が4者以上あった場合も、同様の手順により落札候補者を決定します。

同価入札者が2者の場合、余りは

→	0 → 入札番号 0 が落札
→	又は
→	1 → 入札番号 1 が落札

同価入札者が3者の場合、余りは

→	0 → 入札番号 0 が落札
→	1 → 入札番号 1 が落札
→	2 → 入札番号 2 が落札